

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市あおぞらホーム
2	指定管理者	社会福祉法人 なのはな会
3	指定期間	平成30年4月1日から令和3年3月31日まで（3年間）
4	施設の利用状況	《利用者数》 ・令和元年度 3,411人（昨年度比 70%） ・平成30年度 4,902人（昨年度比108%） ・平成29年度 4,551人（昨年度比110%）
		《事業》 ・児童発達支援事業
5	収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 35,236千円（29,329千円） ・その他市が負担した費用 1,525千円（3,074千円） （ ）は前年度決算額
		《収入》 ・使用料収入 42,543千円（57,443千円） ・その他収入 0千円（0千円）
6	利用者の声	《実施状況》 ・令和2年2月、指定管理者の協力のもと障害者支援課で利用者アンケートを実施した。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の保育所・幼稚園等の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	施設の運営管理については、事業計画に基づいた運営がなされている。 経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	冬は廊下と室内の寒暖差が激しいため、保護者より廊下の暖房設備設置を要望する声があがっているものの、清掃・衛生管理・施設の保守点検は適切に行われており、利用者が快適に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、定期的な職員会議や研修により人材育成を図るとともに、情報共有に努め職員全体でのサービス向上を目指している。 利用者が相談しやすい環境を整えたり、相談に迅速かつ適切に対応できるよう、各関係機関と積極的に連携している。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画を詳細に作成し、利用者個々の特性に合わせた、効果的な支援を提供するよう努めている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
<p>本年度の、最終利用児は23名となっている。途中、2名が家族都合で退園した。在園児は1歳児から4歳児で、子ども達の発達の状態を踏まえながら2クラス体制を取った。主任はフリーで子どもの発達支援におけるクラスへのアドバイスや保護者支援、卒園児を含めた地域相談を主に担った。</p> <p>【発達支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達の特徴を踏まえ、基本となる生活リズムを整えながら、あそびを通して子ども集団での育ち合いを促した。また、手作り教材の作成やあそびの工夫の中で子ども達の能動的なあそびを喚起し、自己肯定感を持てる育ちの支援を行っている。</li> <li>・保育士、看護師、理学療法士等専門職がそれぞれのアセスメントを持ち寄りながら子どもの発達支援を実施した。</li> </ul> <p>【家族支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今、様々な事情を抱えて入園する家族が増えており、個別性や秘匿性に配慮しなければならない支援が必要であった。各関係機関との連携が重要であり、行政に限らず医療、地域の子育て新事業関係者などとも連絡を取り合いながら支援を実施できた。</li> </ul> <p>【地域支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域相談では保育所・幼稚園の卒園児訪問や研修会の実施、定期訪問により児や支援者のサポートが実施できた。またのびすくすの相談会への参加、乳幼児健診事後教室について意見交換ができ、地域課題の抽出を行う際にとても有意義であった。</li> </ul> <p>【今後の取り組み目標】</p> <p>療育の質を高めるためにはセンターの役割をしっかりと念頭に置き、学びを行動化できる職員集団育成が早急に取り組むべき課題である。本年度より導入したオンライン学習システムも活かしながら、現場で起こっている様々な実践的課題について、ディスカッションができる場を設定していく。また親子通園であることを踏まえ主に母親の思いをしっかりと受け止め迅速な対応ができるよう相談支援スキルの向上を図っていく。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。近隣の保育所・幼稚園等の子育て支援施設との連携、情報共有に努め、地域の中で児童発達支援センターとして求められる役割を果たすため、積極的に地域支援に取り組んでいる。</p> <p>保護者からの相談に各関係機関と連携しながら対応したり、卒園児の進路先訪問を実施するなど、利用児童だけでなくその家族や、卒園児の支援も積極的に行っており、包括的で切れ目のない利用者処遇の向上に努めている。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課